



“サビ取り”のスター軍団が 抜群のチームワークで

“目”を守る!

“目”からはじめる
元気な暮らし

アスタキサンチンを主軸に、厳選された“サビ取り成分”を1つのカプセルに凝縮させた『アスタジー』。紫外線による目のダメージからパワフルに守り、いつでもクリアな視界、輝き続ける瞳をサポートします!

1日2粒でOK♪
手軽に続けたい
方はコチラ!



『アスタジー』は、アスタキサンチン、クロロフィル、ピクノジェノールをはじめ “からだのサビ” にアタックして、美とわかわかしさへと導く強力な素材が凝縮された健康食品です。

そのチカラの秘密は、浄・活水器『エリクサーⅡ』(P69)など数々の名品を生み出してきた宮下周平氏による、原材料の組み合わせ。成分単体よりも、相乗的に「サビ取り」パワーが働き、からだに自然にフィットするよう絶妙に配合されています。目はもちろん、さまざまな不調や疲れの元となっている“からだのサビ”から身を守り、輝きを取り戻しましょう!

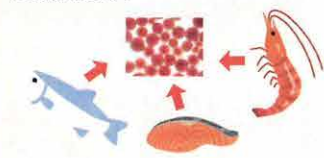
こんな方にオススメ目です!

- ☑ 目の奥に残る、重たい疲れをとりたい
- ☑ すばやく動くものを追う目ヂカラをつけたい
- ☑ 全身に残るガンコなダルさをとりたい
- ☑ 紫外線ダメージを内側から癒したい
- ☑ シャープでキレのある頭の回転がほしい



目を“サビ”から守る超プロ、 「アスタキサンチン」!

コエンザイムQ10の800倍、ビタミンCの6000倍! そのサビ取り能力で注目を浴びる「アスタキサンチン」は、頭部への関門を通れる数少ない物質で、頭と目の中でもパワフルに活躍します!



「目の変化を実感!」のお声、続々!

しばらく飲んでいて ほんとに老眼鏡
をかける必要も 見えなくて思、いま
した。安心して 1ヶ月くらい飲ま
ないで 以前のように 目がよくなって
いるのに 目がよくなっていました。
飲むのをやめると 解、正効果です!!
仕事でパソコン画面と 1時間、2
時間、アスタジーは 手離せな
いものになりました。

島根県 A.Y様 50代/女性

これらの商品を 飲み始め、2~3日
たった位から、物に対する見え方が
違って来ました。今まで 見ていた物に
一体 何だったのだろ? と思います。
目の奥から スッキリし、
はっきりと物が 見えるのです。
しかも 今まで 本を読んだと
疲れてしまい、目が疲れて 進歩が
遅かったが、気づくと 1冊 読めてしま
った。2週間 目が 自然と

愛知県 S.S様 40代/女性

アスタジー®

■330mg×60粒・・・4,860円 (本体価格4,500円+税)

原材料:ヘンプオイル、コエンザイムQ10(還元型)、フランス海岸松樹皮エキス末、ゼラチン、ミツロウ、グリセリン、ヘマトコッカス藻色素、トコトリエノール、クロロフィル、ペパーミント、ユーカリ、レモンマートル

賞味期限:製造日より2年

※開封後はお早目にお召し上がりください。
※1日2粒程度を目安に、水またはぬるま湯でお召し上がりください。
※原材料をご確認の上、アレルギーのある方はお召し上がりください。

規格成分含有量:2粒(660mg)あたり アスタキサンチン2.4mg クロロフィル2.4mg



※商品の体感には個人差がございます。

目の専門家にインタビュー!!

目にいいことをすると、 からだにもいい

「なんとなく不調」 の最大の正体

最近、なんとなく不調だという方が増えています。イライラしたり、不安を感じやすい。目覚めたときからだるい。常に肩や首がこっている。夕方になるとぼんやりして頭が回らなくなる。胃がムカムカしやすい……。実は、これらの不調は「目」が引き起こしているかもしれない。

目は「乾く」「ごろごろする」「しょぼしょぼする」程度です。ただ、いつの間にか目のまわりの筋肉をカチカチにしています。目は「乾く」「ごろごろする」「しょぼしょぼする」程度です。ただ、いつの間にか目のまわりの筋肉をカチカチにしています。

目をじっくり、 じんわり温める

「目の疲れ」を放置していれば、からだはいつまでも休まらず、体調はどんどん悪化していきます。しかも使い過ぎてカチカチになった目は、自

然には回復しにくいのです。

でも大丈夫です。寝る前のストレッチと同じように、目のまわりの筋肉も毎日ケアしてあげれば、次第に柔軟性を取り戻していきます。なかでも「目のまわりを温める」のが一番おすすめです。目のまわりを温めれば、筋肉がゆるんで、めぐりがよくなります。さらに、緊張とリラクゼーションのバランスが整い、からだ全体も休息モードに入っていくのです。

温める上で大切なポイントとは、「ゆつくりと時間をかけて、じんわりと温め続ける」ことです。カイロや蒸しタオルを使って短時間で急に温めてしまうと、外した後に反動で冷えてしまい、かえって目の筋肉がこわばってしまうことがあるのです。なるべくゆるやかに、保温作用を維持できることが、目にとっては望ましいでしょう。

日本中の人たちが、一刻も早く「目の疲れ」の影響に気づいて、目のケアを習慣にしていதாக。そして、からだの内側から元気になってくれたら、眼精疲労の専門医としてこれ以上の喜びはありません。

(文責:濱沖弘)

森岡先生がおすすめする 「目の疲れ」にうれしい食材は!?

目に入る紫外線から発生するサビ物質は、目を疲労させ、ダメージを与えます。そこで、サビ取り作用を持った食べ物がおすすです。なかでも強力なのが“アントシアニン”を含む「ブルーベリー」や「カシス」です。それからトマトやにんじんなど色鮮やかな食べ物に多い、“カロテノイド”をなるべく摂るといいでしょう。その中でも特におすすめなのが、「鮭」や「いくら」「かに」など「アスタキサンチン」を含む食べ物です。また「ルテイン」を含む「ほうれん草」「かぼちゃ」、「ビタミンA」を含む「レバー」や「うなぎ」もおすすです。目だけでなく、全身の疲労物質も減らすことが期待できますよ。



(森岡先生)



眼科疲労のスペシャリスト
吉祥寺森岡眼科院長・医学博士 **森岡 清史さん**

浜松医科大学医学部卒業後、東京大学大学院医学系研究科にて網膜色素上皮細胞の研究(微細形態)に従事。東京大学大学院を修了。医学博士取得。日本眼科学会眼科専門医に認定。1995年、吉祥寺森岡眼科を開業。1998年からは全国でも数少ない眼精疲労治療室を併設。近年はバイオラバー素材のアイマスクを共同研究するなど、広い範囲で研究・治療を行っている。著書に「目を温めると身体が自然によみがえる!」がある。

※商品の体感には個人差がございます。